

いよいよ三次予選! 出場者はこちら ※演奏中はホールの中に入れてません。

	演奏予定	エントリーNo.	伴奏者		演奏予定	エントリーNo.	伴奏者
1	9:30	72	鈴木華重子	7	12:50	66	鈴木華重子
2	9:51	26	與口理恵	8	13:11	47	鈴木華重子
3	10:12	87	與口理恵	9	13:32	54	與口理恵
休憩12分				休憩12分			
4	10:45	91	水野久美	10	14:05	53	水野久美
5	11:06	40	水野久美	11	14:26	77	岡本知也
6	11:27	35	石橋尚子	12	14:47	73	石橋尚子
休憩62分							

公式伴奏者



左から、水野久美、石橋尚子、與口理恵、鈴木華重子の先生方

~第11回優勝&コスモス賞 難波薫さんのコメント~

私はコンクールが好きでした。あの独特の緊張感、緊迫感!
毎回ゾクゾクしながら演奏していたのを懐かしく思い出します。
たくさんの失敗をし、それを分析して成功に導き、経験を重ねたお陰で今の私があると
言っても過言ではありません。
また、他人の演奏を聴くことから学ぶ事も多いでしょう。
ぜひ、多くを吸収し、皆さんの素晴らしい未来に繋げてください。
コンクールに携わった全ての皆様、お疲れさまでした。



©紀尾井ホール/ヒダキモコ

二次予選講評 竹林秀憲審査員

第二次予選は、「J.S.バッハ/パルティータ又はC.P.E.バッハ/無伴奏ソナタのどちらかを選択して演奏する」という課題でした。前者が父親で後者が次男です。親子の作品のどちらかを選ぶわけです。親子といっても作品の趣はかなり違います。7~8割の方が父親のJ.S.バッハを演奏しました。

第1次予選に続き、第2次予選も皆さん優れた演奏でした。明日からの第三次予選 及び 本選が楽しみです。ここでご提案というかお願いがあります。次回から、コンクール受験者のホストファミリー制度のようなものがあると良いと思います。遠方からの受験者がほとんどなので、実現すると嬉しいです。コンクールは7日まで続きます。ご家族で聴きにきて下さい。お待ちしております。よろしくお願いします。

【三次予選 課題曲】 下記①②からそれぞれ1曲を選び、合計演奏時間20分以内で演奏すること。(曲間を含む)

- ① (a)カゼルラ: シシリエンヌとブルレスク
(b)デュティユー: ソナチネ
(c)ジョリヴェ: リノスの歌
(d)カーク=エラート: シンフォニッシェ カンツォーネ
(e) マルタン: パラード
(f) サンカン: ソナチネ
- ② (a) ベーム: シューベルトの主題による幻想曲
(b) ドゥメルスマン: 演奏会用ソロ第6番 へ長調 作品82
(c) ドゥメルスマン: オベロンの主題による幻想曲
(d) クーラウ: オイリアンテの主題による序奏と変奏
(e) タッフアネル: 魔弾の射手による幻想曲
(f) タッフアネル: 「ミニヨン」によるグランドファンタジー

演奏者へのインタビュー

○名古屋から来ました。周りの風景とホールの雰囲気など、とてもいいところ。ひびきもとてもよかったです。
○いいホールですね。よくひびき、寒くないし、ちょうどよい環境でした。私は、岡本というんですが、この地に岡本というところがあると聞きました。何か、ご縁を感じてうれしいです。
○初めての応募です。名古屋から来ました。とても静かないい環境のホールですね。緊張はしたけど、とてもひびきがよくて楽しく吹けました。
○緊張はしましたが、お世話して下さる皆さんの雰囲気が優しく温かいので、安心して演奏に臨むことができました。落ち着いたとても良いホールだと思います。
○初めてですごく緊張しました。いい雰囲気のホールですごくひびきました。吹いていて気持ちよかったです。
○お久しぶりです。2年前の前のコンクールの時は高校生だったけど、大学生になりました。今回は後輩といっしょに来ました。

(ボランティアスタッフから)

—突然演奏者から声をかけられ、前回はボランティアとして参加していた私を覚えてくださったのです。うれしいですね。スタッフとしてかかわった喜びの1コマです。今回もぜひ頑張ってくださいね。

ボランティアスタッフのつ・ぶ・や・き

【送迎係】

○演奏者を宿泊施設や練習会場からホールまで、車で送迎しています。時間の制約の中、遅れないように気を遣いながらの送迎ですが、昨日、今日とも、時間のゆとりを持ちながら送迎できています。皆さんが安心して利用して下さるために、時間のゆとりがあることが大切です。

【ホワイエ・受付係】

○演奏を終えられた方やご家族が入場されています。ゆったりとして、なごやかな空気がただよっています。

【広報部】~速報しています~

○広報部は、日刊紙「ほっとねっと」で、木管コンクールの最新情報を日々お伝えしています。演奏者の皆さん、審査員の先生方はじめ、皆さんがそれぞれの場所で奮闘されている姿を速報でお届けしようと、取材に、編集に頑張っています。
○受付をすまされ練習会場に行かれるまでの時間や、音出し室に入られるまでの時間は、雰囲気に慣れていただくようにと考え、インタビューは避けています。
○演奏が終わって、帰ってこられる演奏者の皆さんの表情に、思わず拍手を送りたいような気持ちになります。“お疲れ様”
○インタビューをお願いすると、どなたも明るい笑顔で答えてくださり、ホッとして心が温かくなります。



「気持ちよく演奏できましたか？」



関西発若手育成プロジェクト & 音楽文化振興に関する協定の締結

「日本木管コンクール」は“若手演奏家をそだてよう”との熱い思いで、旧東条町と住民が一丸となって取り組みを続け、今回で29回目を迎えています。

この度、同じ目的を持つ「一般財団法人あおによし音楽コンクール奈良(奥谷友子理事長)」、「公益財団法人日本センチュリー交響楽団(水野武夫理事長)」、「特定非営利活動法人新しい風かとう(土肥富幸理事長)」の三者が、関西発若手育成プロジェクト & 音楽文化振興に関する協定を締結しました。これからは、三者が協力して、才能ある若手演奏家を発掘・育成し、音楽文化の一層の発展を目指していくことになります。

この締結により、平成31年3月16日開催の「日本センチュリー交響楽団東条特別公演」は、「第29回日本木管コンクールフルート部門」の優勝者と「第6回あおによし音楽コンクールプロフェッショナルステージグランプリ」の2人を迎えての公演となります。三者の力強い挑戦に、どうぞご期待ください。



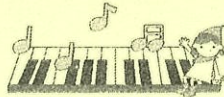
右から土肥理事長・奥谷理事長・水野理事長

日本木管コンクール

日本木管コンクールは、1990年、コスミックホールが誕生した同年にスタート。田舎の小さなまち東条町だったものですから、なんでこんなところでこんなコンクールをやるんやという町民も多く、クラシック音楽などは縁遠い世界、そんな雰囲気の中でやってきました。運営に関わる100名を超えるボランティアスタッフや町の職員にしても、審査員の先生方や出場者の方々とう接すればいいのか、舞台の進行や、また、これをどう伝えていくか、何から何まで全くの手探りの状態でした。

今回29回目を迎え、関わっていたメンバーも当初とは違う顔ぶれですが、一つのバトンをつなぎ、今年はまだ新しい歴史を刻んでいきます。

「小さなまちの大きなコンクール」は、これからも、地域の人の力を集め、私たちの熱い思いで未来につなげていけることを願っています。



～木管コンクールに寄せて～ 審査委員長 高木綾子

由緒あるこのコンクールにチャレンジして、今日加東市まで来た皆様の努力と才能溢れる演奏を楽しみにしてきました。

コンクールとは、その時の結果よりも、それまでの努力が皆さんの宝になっています。

今日、この演奏が素晴らしい成果に繋がりますよう、心より応援しています。



～はじめまして～ 新しい風かとう「コスミック女子会」です!!

私たちは、「コスミックホールを守り、育てるために、できることはないか、どんなことにも力になりたい」と立ち上がった、女性ボランティアです。

誕生!! 平成28年4月「NPO法人 新しい風かとう」のスタートと共に結成されました。

思い返せば、当時、コスミックホールに集まったボランティアは、「何とかしてホールを存続したい」との思いばかりがつのり、“さて、何をどうしたらいいの?”と右往左往。まずは、集まって話し合うことから…というのが出発点でした。

女子会の あつい コスミック愛

- ☆音楽を楽しみ、発信する場として、ホールを残したい。
- ☆市民の憩いや集いの場として、多くの人が寄り添えるホールにしたい。
- ☆子どもの教育の場として、子どもへの遺産として、ホールを残したい。
- ☆近隣にない音響の素晴らしいホールで、質の高い音楽を提供し続けてほしい。

女子会 定例会 (話し合いの場)

— みんなの知恵を出し合います —

- ・どんな仕事が必要か?
・事務局からの依頼事項は?
- ・役割分担は?
→より動きやすく
→楽しく、効率的に
- ・全体ですること...?
- ・当番制の仕事の確認と連絡 (ホール内外の清掃美化)
- ・活動の反省と問題点は?
・今後の方向

女子会 定例会
毎月第1月曜日
9時半より

～こんな仕事をしています～

女子会の活動に ぜひ ご参加ください

- ① ホール内外の清掃、環境整備
- ② ホール行事の準備と支援
- ③ ビラ・チラシの配布計画・仕分け
- ④ ホール事業の広告協賛依頼
- ⑤ 「コスミック通信」(手作り新聞)の編集・発行
- ⑥ 「コスミックうたごえ喫茶」の企画・運営(自主事業)

コスミックホールで
ワイワイ・がやがや
女子パワーを発揮!!

～「コスミック女子会」これからも頑張ります!!～

私たち「コスミック女子会」は、まだまだ不慣れで未熟ながら、個々の空き時間を提供し合いながら、日々精力的に、楽しく活動しています。東条コスミックホールのように、市民ボランティアが支えているホールは全国的にも少なく、その一翼を担っていることを自負しています。

また、出演された多くの演奏者の方々、ご来館頂いたたくさんの方々から、「ホールの響きと雰囲気の良さ」を誉めていただき、大変嬉しく誇りに思っています。

これからも、東条文化会館コスミックホール発展のため、女子会一丸となって支えていきます。

今回の「第29回木管コンクール」でも、演奏者の方々が

力いっぱい実力を発揮され、思う存分に演奏されることを願いつつ、会場のあちこちで、そとご支援させていただきます。

～加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動支援金)のご協力をお願いいたします～

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。

QRコードをスマホ等で読み取っていただくと加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。

特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人 新しい風かとう」にお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください。

また、団体名をクリックしますと「特定非営利活動法人 新しい風かとう」のホームページをご覧いただけます。



～日本木管コンクール開催における協賛金・ご寄附にご協力をお願いいたします～

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援して下さる個人の皆様の温かいご寄付とご協賛支援に支えられて取り組んでまいりました。

「この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならない」との思いと、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与した功績をご理解いただき、今後もコンクールを継続するためにもご協力を仰ぎたいと考えております。

どうぞ、皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。

詳しくは「特定非営利活動法人 新しい風かとう」又はQRコードをスマホ等で読み取ってご覧ください。

